

ぱれっと

2008
5月
No.105

■ 目次 ■

- P. 2 すぽっとらいと **スポーツする子どもたちを応援します！**
bukatsu.com (ブカツ ドット コム)
- P. 4 サポセン日記 **事務用ブース 新入居団体紹介**
- P. 5 ミニサポダス **サポセン利用者意見交換会**
サポ本を読もう
- P. 6 アラカルト **平成20年度事業紹介**
- P. 7 イベント紹介
- P. 8 お知らせ など

『きってきっぺ！』で身近に感じる海外協力 仙台JOCS (日本キリスト教海外医療協力会)

毎月第2土曜日に、サポセンで切手の整理作業をしている『きってきっぺ！』の活動をご存知ですか？

仙台JOCSでは、使用済み切手を集めて海外での医療・保障支援に役立っています。集まった切手は日本のものだけでなく、ヨーロッパや中国など外国の切手もあり、絵柄を見ているだけでもワクワクします。なんと消印に価値がある場合もあるそうです。

和気あいあいとした雰囲気で作業をしているこの活動。気軽にできる海外協力と一緒に参加してみたいはいかがですか？

〔連絡先〕

有田：ariken@lemon.plala.or.jp

ホームページ <http://www.jocs.or.jp>



すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

スポーツをする子どもたちを応援します！

「bukatsu.com (ブカツドットコム)」

.....
新学期も1か月が過ぎ、新中学生は「どの部活に入ろうかな？」と考えながら部活動を決めている時期ではないでしょうか。でも、自分のやりたい種目のスポーツがなかったら、どうしますか？そんな時の選択肢として、bukatsu.comの活動があります。

代表の青島大輔さんにいろいろ話をお伺いしました。



●子どもたちのスポーツの環境は整っているか

地域のスポーツに関わっている保護者や教員の方々からの「学校の部活動だけでは、子どもたちのスポーツ環境として足りないことが多い。部活動を側面的に支えながら活動できる環境が欲しい。」という声を受け、前身である仙台バレーボールアカデミーの活動を引き継ぐかたちで、バレーボールだけでなくひろくスポーツのサポートをしようと2007年からbukatsu.comの活動が始まりました。

県内中学校の部活動の実施状況には差があります。希望に燃えて進学しても、やりたい種目が学校の部活動にはないとか、指導者が足りなくて十分な技術指導が受けられないなど多くの問題を抱えているのが実状です。また種目によっても事情は違い、特にバレーボールは、小学生までは地域のスポーツ少年団などの受け皿があるので良いのですが、中学生になると環境が整わず試合にも満足に出られないという場合が多いのだそうです。

そこで、スポーツをやりたいという子どもたちの気持ちを受け止め、その環境を提供することを目的としてbukatsu.comは活動を展開しています。

●スポーツをしたいという声に答えて

bukatsu.comでは、夏と冬にスポーツスクール(以下スクール)を開催しています。練習は3か月を1クールとして週1回平日の夜間に行います。現在会場は2つ、仙台会場は青葉区体育館とその周辺中学校体育館、仙南会場は大河原「はねっこアリーナ」とその周辺中学校体育館を利用。種目は女子バレーボールで定員は40名。中1、2年生は、基本の技術指導を中心に、中2、3年生はさらに応用技術を習得、チームを作って

大会に出場したりもします。指導するスタッフは、指導経験のある大学や専門学校の教員、大学生、専門学校生があたっています。勉強を支援してもらう学習塾があるように、ここは好きなスポーツをより頑張れるスポーツ塾のような感じだといえます。

スクールには、通っている中学校に部活がない子、部活に所属していても練習時間が足りない子、もっとうまくになりたい、好きなスポーツを続けたいという子どもたちが集まってきます。中1～3年まで夏・冬のスクールを開催するたび毎回参加するリピーターも多く、友人を連れて参加したり、先輩が楽しそうに通っていたからと後輩が入ってくるケースもみられます。集まってくる子どもたちは、バレーボールが好きで、同じ思いの仲間と一緒にプレーができるので、みんな意欲的に練習に取り組めるのだそうです。

「卒業生のなかには、高校の監督からスカウトされた選手もいました。トップアスリートを育てることが第一目的ではありませんが、巣立った子どもたちが高校に進学して活躍している姿や県選抜に選ばれたという知らせを聞くと嬉しいですね。」と代表の青島さん。



▲ 女子バレーボールチーム

団体紹介

bukatsu.com (ブカツ ドット コム)

子どもたちが、スポーツの楽しさを知り、少しでも練習できる環境と正しい指導を受けられる時間を提供したいと活動しています。そして子どもたちが夢と希望にあふれ、心身ともに元気になるよう支援しています。

<団体連絡先>

〒980-0811

仙台市青葉区一番町4-1-3 レターケースNo. 21

TEL 090-3647-7452 (青島大輔)

E-mail: aoshima@forest.ocn.ne.jp



●スタッフ教育も徹底して

bukatsu.comは、現在、指導スタッフ10名、ボランティア20名、事務局スタッフ3名で運営しています。平成19年9月からサポセンの事務用ブースに入居していて、事務や広報作業、指導者のミーティングの場所として活用しています。スクールの開催で一番苦労するのが練習会場の確保。公共の体育館を開催期間中押さえること、それに伴い使用料も発生してきます。地域の中学校体育館の夜間開放なども利用してその調整が必要になってきます。とにかく、スタッフが集まって作業ができる拠点があることが最大のメリットだといえます。

また、スタッフ向けのスキルアップセミナー「トレーナーズ寺子屋」もサポセンを会場に開催しています。指導のプログラムは、仙台大学、仙台リゾート&スポーツ専門学校の講師をしている代表の青島さんがプランニングしていて、指導者、スポーツトレーナーとして様々なスポーツに携わってきた青島さんの経験が活かされたプログラムとなっています。

●地域のスポーツ環境の改善に力を尽くす

今後は、仙台地区、仙南地区から県内にスクールの拠点を拡げていきたいそうです。特に古川、田尻、小野田などの仙北地区は、もともとスポーツ少年団、ママさんバレーボールなどが盛んな地区なのですが、少子化などの問題も絡み中学・高校の部活がなくなっている状況です。練習会場となる拠点が見つかりたいスクールの開催したいと考えています。

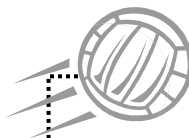
また、現在の活動は女子のみのスクール開催です。男子チームのスクールも念頭に入れているのですが、男子と女子では指導の仕方に違いがあり、まずは指導者の養成に力をいれなくて

はなりません。

「現在のスクールはバレーボール中心ですが、競技種目を広げ、宮城県全域をひとつの地域と考えた宮城に根ざしたスポーツの普及に努めたいです。そして、宮城の地元で頑張った子が地元の高校等で活躍できる環境を整えていきたいです。」と青島さん。子どもたちの「上手になりたい!」という素直なニーズに正面から応えていきたいと意欲を燃やしています。

bukatsu.comは、従来からあるスポーツ少年団や教育的指導のもとに行われる部活動などの足りないところを補いながら、地域型スポーツクラブの先駆けとしての活動を展開してきました。今後も、子どもたちのスポーツ環境の改善に力を尽くしてくれることを期待します。

(担当：葛西淳子)



◆ お知らせ ◆

bukatsu.comでは、コーチングスタッフとして活動してくれる仲間を募集しています。

<募集内容>

中学生年代の子供たちに、バレーボールまたは、バスケットボールの指導をしたいと考えている方で、定期的にかつ継続的に指導にあたる事の可能な方。

年齢・性別の制限はありませんが、コートと一緒に指導にあたる事のできる元気で明るい方。

交通費の支給あります。(但し、上限あり)

<活動時間>

平日18:00~21:00

※週1回程度、曜日は未定

<問い合わせ>

上記連絡先：青島まで

◆サポセンのサービスいろいろ。
どんなふうに使えるのか紹介します！

サポセン日記

今月のテーマ ～ 事務用ブース～

昨年12月に行われた事務用ブースの追加募集により、2月より新たに3団体が事務用ブースに入居しました。今回は、事務用ブースに新しく入居した団体をご紹介します。

新・入居団体紹介

■ (社) 日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント協会東北支部

消費者問題の専門家として、消費生活に関する消費者啓発活動、調査研究及び研修会・研究会の開催を行っています。消費者利益と企業活動の調和を図り、社会経済の健全な発展や国民生活の向上を目的として活動しています。

■ フューチャー・リンク・ 트렌ダー

「良い教育をもっとたくさん子どもたちに行き渡らせたい」という思いから、平成19年9月に立ち上がった団体です。仙台の学生を応援する“学び”“ロコミ”発信マガジンとして、月刊「学コミ」を平成20年4月より発行しています。

■ 仙台シニアネットクラブ

パソコン・インターネットを通じて、シニアのみならず、一人ひとりの心を豊かにすることを目指しています。情報弱者になりがちな高齢者(60歳以上)の方のための、各種パソコン講座を開催しています。

●●新入居団体に突撃インタビュー!●●

「仙台シニアネットクラブ」の四竈武さんにお話を伺いました。「仙台シニアネットクラブ」は、活動拠点であるメディアテークで事務局の仕事も行っていましたが、今回独立して、サポートセンターの事務用ブースに入居しました。

Q: ブースを利用してどうですか?

うーん、ちょっと狭いですね。荷物に関しては、ブース以外にロッカーを借りたり、別の活動場所に分散させています。私たちは、会員との連絡は全てメールで行っていますし、受講者の管理も全てパソコンに入力していますので、パソコンが無いと作業ができません。ブース内だけではスタッフの作業が収まらないので、7階の交流サロンを利用して作業をしています。

Q: よかったことは?

活動場所と事務局が離れてしまいましたが、サポセンは立地も良く事務局としては便利に使っています。

事務用ブースだけではなく、サポセンの他の機能も上手に活用してブースだけでは足りない部分を補っているようです。

(担当: 内川 奈津子)



▲事務用ブースにて、仙台シニアネットクラブの四竈さん

●● 事務用ブースとは?

サポートセンター7階にある、市民活動団体が簡易事務所として使用できるスペースです。この事務用ブースは、インキュベート(注)を目的とし、入居団体が成長し巣立っていけるよう、支援の場として設置しています。

(注) インキュベート: 卵の孵化を意味するもの。

●● 年に2回の健康診断

事務用ブースの入居団体には、半年に1回、担当スタッフを交えて活動の振り返りを行う「イン

キュベート相談会」を実施しています。これは、定期的にスタッフと話をすることにより、団体にとっては自分たちの活動を振り返る機会になり、日常の問題を考えるきっかけになります。

また、スタッフも団体の活動状況を知ることができ、問題を解決するための情報提供がしやすくなります。

1階の入り口付近に、事務用ブースの入居団体紹介ボードがありますので、どんな団体が入居されているのか、是非ご覧になってください。

ミニサポダス

—利用者意見交換会—

サポートセンターでは、利用者のみなさんから、サービス改善につながるご意見をいただく「利用者意見交換会」を開催しています。今回は、3月7日に行われた意見交換会で出されたご意見を紹介します。

●みんなで元気にあいさつを

Aさん：フリースペースなどを利用する際、利用者同士、あいさつできるといいと思うんですが。

Bさん：でも、あいさつは個人の問題なので、強制はできないのではないのでしょうか。

Cさん：たとえ返事が無くても、自分からあいさつするようにしていると、次第に返事が返ってくるものですよ。

Dさん：私は、初めてサポートセンターへ来た時に、窓口でスタッフからあいさつをされて、安心できました。

スタッフ：お互いに声をかけあって、団体同士の交流を深めていただければと思います。スタッフからも元気にあいさつをするよう徹底していきます。

●混雑時はゆずりあって

Aさん：フリースペースを長時間占有されるのは、ちょっと困りますね。

Cさん：フリースペースは空いていれば、自由に使えるんじゃないんですか？

Bさん：私たちの団体では、長時間の打合せや作業をするときは、研修室を借りるようにしていますよ。

スタッフ：3階や7階の交流サロンは、スペースに限りがあるので、ゆずりあって利用していただきたいと思います。また、3階の交流サロンは研修室の前、7階の交流サロンは事務用ブースの前にあるので、話す声の大きさなどにも注意していただけるといいですね。



今回はフリースペースの利用に関する意見が活発に交換されました。これからも、利用者の皆様のご意見を反映させて、よりよいサービスにつなげていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

※交流サロンは、ボランティアや市民活動に関する少人数の打合せや事務作業などに使えるフリースペースです。3階、5階、7階に3カ所あります。

(担当：太田 貴)



『コミュニティ・カフェと市民育ち～あなたにもできる

地域の縁側づくり～』

著者：陣内雄次、荻野夏子
田村大作

発行：萌文社

定価：2,000円（税込）

■サポセン図書

「E まちづくり」の棚にあります。

.....

◆サポセンの図書コーナーの本を紹介します。

サポ本を読もう！

キーワード：ロハス、スローライフ、サステイナブル。コンセプトは「地域の縁側づくり」：この単語から、みなさんはどんなこと・ものを想像しますか？

それは、カウンターのみの六席のカフェ。曜日代わりでいくつかの店がテナントとして共同営業しています。この本では、コミュニティ・ビジネスの一つの形態としてのコミュニティ・カフェの在り方や運営のしかた、さらには空き店舗をリフォームしたプロセスまで、実に詳しく紹介されています。巻末には、カフェのメニューに並ぶ二十一のレシピ付き。

さらに、まちづくりの視点からの考察も加えられていて、コミュニティ・カフェが地域の中でどんな役割を果たせるのか、その可能性を探っています。これからコミュニティ・カフェをやってみたいという方にはぜひ参考にしていただきたい一冊です。

(担当 千葉 やす恵)

アラカルト

◆市民活動の旬の話題やサポセンで開催された講座の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

平成20年度事業紹介

新年度が始まり、市民活動サポートセンターでは、平成20年度に実施する事業計画が着々とすすんでいます。今回は皆さまにいち早く、その概要をご紹介します。

ボランティアや市民活動をこれから始めたい人や既に活動している人たちのパワーアップのために

人材育成事業

- NPOいろは塾
「NPOってなんだろう?」そんな疑問に90分でお答えします! 5月から毎月1回開催予定。
- 出前NPOいろは塾
各施設が実施する講座に、サポセンの人気講座がおじゃまします。
- NPOステップアップ講座
「課題解決テーマ別講座」
市民活動団体が抱えている共通課題をテーマに、解決にむけた講座を開催します。年4回開催予定。
- 事務用ブース入居団体インキュベート相談会
サポセン事務用ブース入居団体を対象に、団体運営や活動についての個別相談会を開催します。

市民・企業・行政の連携と交流推進のために

ネットワーク推進事業

- 協働市場
NPOと行政による協働事業の事例検証を行います。
- CSRサロン
企業の社会貢献活動の事例を紹介し、企業とNPOの情報交換、交流の場を作ります。
- まるごとサポセン
NPO・企業・行政が仙台の街を盛り上げていこうと実施する「せんだいCARES」と連携し、まる1日サポセンでNPOづくしが体験できます。
11月開催予定。
- 町内会とNPOの連携推進
「コミュニティ情報の収集」
町内会とNPOの連携や協力事例の情報を収集し発信します。

市民活動やサポセンをもっと知っていただくために

市民公益活動に関する誘導・啓発事業

- 出前サポセン
(サポートセンター出前プロジェクト)
サポセンの機能を、あなたの地域へまるごと出前!
「NPOいろは塾」や市民活動団体の情報収集、地域のネットワークづくりを目的とした「サポセンひろば」も開催します。
- NPOフォーラム
仙台で活動している市民活動団体の情報発信と交流を目的としたNPO見本市を開催します。

より充実したサポセンを目指して

調査研究事業

- 全国のNPO支援センター調査
平成11年6月30日、全国初の公設民営のNPO支援センターとしてオープンしたサポセン。全国のNPO支援センターの実態を調査し、10年目に向けて、新たな取り組みを開始します。

サポセンシアターを3倍面白くするために

市民活動シアター活性化事業

22の応募企画から、厳正な審査のうえ選考された8企画を実施します。

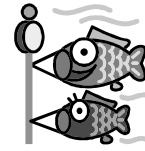


実施月	企画名	実施団体	
平成20年	8月 アフリカの風。大地の香り。 ~きょうは1日アフリカ日和~	アマニ・ヤ・アフリカ	
	9月 まちなか まるごと絵本	ハート&アート空間 “Bel”	
	10月 OtoOpresents プロデュース公演 「お父さんのための演技教室」	OtoOpresents	
	11月	三角フラスコ#30 「NO fear」	三角フラスコ
		第95回演劇公演 「ノアとヒューズ」	劇団「麦」
12月	舞台公演 「ぶこきがアンサンブル-みんなが何かをもっている-」	即興パフォーマンス集団 すんぷちよ	
平成21年	1月 office-over.プレゼンツ 「INDEPENDENTE : in 仙台」	office-over.	
	2月 仙台リーディング・シアター・ウィーク	演劇集団 Lada Trosso	

イベント 紹介

- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

5月



開催日	時間	イベントタイトル	貸室	参加費	主催	問い合わせ先
5/4	開場：13:00～ 開演：13:30～ 16:00	「素人の乱」映画上映会および監督、「だめ連」創始者ベペ長谷川氏を招いてのトークショー	市民活動シアター	1,000円 (事前申込不要)	フリーター 労組 仙台 メーカー実 行委員会	TEL 080-6602-8513 (清水貴子)
5/8 ～全 6回	18:30～ 21:00	季節の変わり目で疲れがたまっていますか？手軽に学べる手技を身につけて元気な自分を作ってみて。	研修室3	受講料：20,000円 認定申請テキスト代： 10,000円 教材費：7,000円 (事前申込必要)	JRFA足市場	TEL&FAX 022-223-9023 TEL 090-7564-9831 (森)
5/11	13:20～ 16:30	シニア元気笑学校・第5期2日目 1校時：エンディングプラン② 2校時：社会／3校時：交流	セミナー ホール	1,000円 (事前申込必要)	シニア元気 笑学校	TEL 022-248-3765 FAX 022-248-3775 ※申込はFAXで (校長・渡辺源治)
5/14	19:00～ 20:30	NPOのためのデザイン・レイアウト 基礎講座	研修室2	1,000円 (事前申込必要)	メディア デザイン	TEL 090-3049-0613 FAX 022-224-5308 (千葉)
5/20	18:30～ 20:30	国際語エスペラント一日講習 国際語エスペラントの概略・現状 学習法のご紹介	研修室2	500円 (事前申込不要)	仙台エス ペラント会	TEL&FAX 022-376-5641 (大越啓司)
5/24	13:30～ 16:30	上川あやさん講演会 性同一性障害の体験談ー強くしな やかに生きることを考えてみませ んか？ー	セミナー ホール	1,000円 (事前申込必要)	ESTO	TEL 090-2889-4332 FAX 020-4668-7834 Email:esto_sendai10 @yahoo.co.jp (木之本知世)
5/27 ～全 15回	19:00～ 20:30	国際語エスペラント入門講座 民族を超えた国際語エスペラント のABCから15回の講座	研修室2	7,000円+教材費 (事前申込不要)	仙台エス ペラント会	TEL&FAX 022-376-5641 (大越啓司)

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

- セカンドライフの相談を個別にそして段階に応じて受け付けます。
詳細はお問い合わせください。

< 申込み・問合せ >

仙台市シニア活動支援センター（サポセン3階）

シニア専門相談 <無料/予約制/1組1時間程度>		シニア総合相談 <無料/先着5人/予約制>		シニア一般相談 <無料/予約は不要>	
相談日時	テーマ	相談日時	内容		
5月10日(土) 午前10時～午後6時	シーズン到来！ 健康づくりで仲間づくり	5月22日(木) 午後1時～8時	テーマを定めず セカンドライフ の相談に専門相 談員が幅広く応 じます。	○平日・土曜日 午前10時～午後8時 ○日曜日・祝日 午前10時～午後6時 ※毎週水曜日および 12/29～1/3は休業日	
6月14日(土) 午前10時～午後6時	読んだり書いたり聞かせたり、 あなたを活かせる活動 していませんか？	6月26日(木) 午後1時～8時			

お知らせ

NPOいろは塾開催！

短時間でNPOの基礎を学べるサポートセンターの
人気講座「NPOいろは塾」を今年度も開催します。

NPOについて興味がある方、これから活動を始め
たい方はもちろんのこと、すでに活動を始めているけ
れど、「今さら人に聞けないけど知りたいことがある
！」とお考えの方にもおすすめです。

当日は、サポートセンターの館内ガイドツアーもあり
ますので、サポートセンターを使いこなしたい方も
ぜひどうぞ。

サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸 室
(研修室・セミナーホール・市民活動シアター／有料)
打合わせ、講演会、シンポジウム等で使えます。
- ロッカー(有料) レターケース(無料) 事務用ブース(有料)
- 交流サロン
少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース(無料)
チラシ・ポスターの掲示、展示スペース
インターネット接続スペース(要申込/無料)
- 情報サロン
市民活動団体に関するさまざまな情報があります。
市民活動相談の受付や図書の見学・貸出も行っています。
市民活動に関する情報収集用 インターネット閲覧(無料)
- 印刷作業室
印刷機(紙持ち込み/1 製版100円、紙折り機(無料))
コピー機(1 枚10円)

■ 問い合わせ先 ■

発 行：仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2008年4月23日
編 集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編 集 人：小松州子 本田ふみ 葛西淳子



編集
後記

■ 案内図 ■



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。
[最寄のバス停]電力ビル前、商工会議所前、
広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前
[地下鉄]広瀬通駅西5番出口すぐ
- 当施設に駐車場・駐輪場はありません。
お車や自転車でご来館される方は、
周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。
注)路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者と
して、管理運営を行なっています。
指定管理期間：2007年4月1日～2010年3月31日